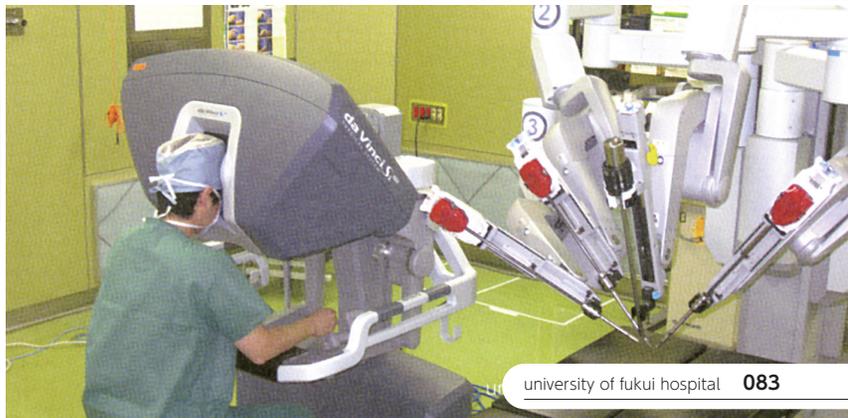
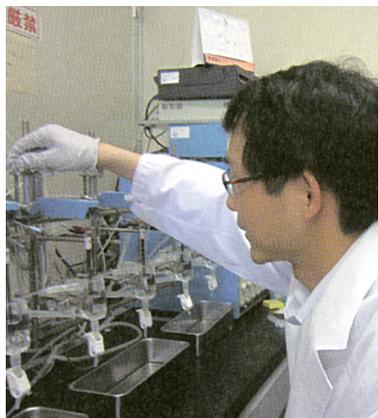


# 12

外科部門

## 泌尿器科



## 教室のモットー

# 才能は花開く時を待っている。

当教室は、世界レベルの基礎的・臨床的研究を展開している。  
臨床面は悪性腫瘍から良性疾患まで、あらゆる分野に対応できる泌尿器科専門医を育成している。

## Urology

<http://fukui-urol.com>

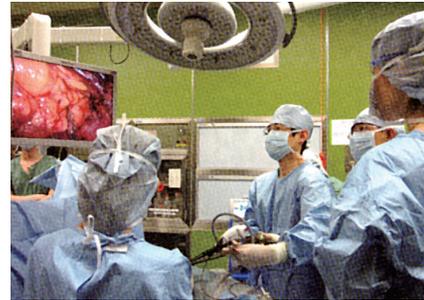
### ●教室員がそれぞれの個性を発揮できる様な環境を作ります。

2022年4月に当教室の教授に就任しました、寺田と申します。京都大学と宮崎大学において、臨床医及び研究者として勤務する中で、医療人の育成にも力を注いできました。現在の若手医師の価値観は多様であり、その教育においても、個々の性格や好みに合わせる必要があります。規模の小さな教室だからこそ、教室員一人一人に気を配り、その個性を最大限発揮できるような環境を提供することが可能であると考えています。「才能は花開く時を待っている」とは、横山前教授が掲げられたモットーです。その考えを受け継ぎ、さらに「才能を花開かせる」ことが出来るような、活気に満ちた教室を作り、一人でも多くの先生に当科を選んでも頂きたいと思っています。



### ●悪性腫瘍から良性疾患まで幅広い診療を行っています。

泌尿器科では、悪性腫瘍に加えて、尿路結石、排尿障害、尿失禁、腎移植、男性不妊症、男性更年期障害、女性泌尿器疾患、小児泌尿器疾患など多彩な疾患に対する診療を行っています。その多くは高齢者に多い疾患であり、高齢社会を迎えて患者数は急増しております。当科では、早くからロボット手術を導入し、前立腺癌、腎癌、膀胱癌などの悪性腫瘍だけでなく、腎盂尿管移行部狭窄症や骨盤臓器脱などの良性疾患に対するロボット手術も行っています。また、他科としっかりと連携し、男性不妊症や小児泌尿器疾患に対する手術に加え、腎移植も行っています。さらに、県内の各関連病院とも連携し、若手の教室員に数多くの手術を経験してもらっています。



### ●世界レベルの研究を展開しています。

当科では、専門研修の段階で大学院に入ってもらい、臨床経験を積みながら、基礎研究にも携わってもらっています。前立腺肥大症や神経因性膀胱に代表される排尿障害に関して、世界レベルの基礎研究を多数行っています。世界ではじめて脳梗塞による神経因性膀胱の実験モデルを確立し、医学の発展にも大きく貢献してきました。悪性腫瘍に関しても、病理学教室と連携を取り、これまで尿路性器癌のバイオマーカーの研究を行ってきました。今後は、マウスを用いた新たな実験モデルを導入し、新規治療法の開発研究を進めていきたいと思っています。

また、若手の先生には、多くの国際学会で研究成果を発表する機会を与えています。留学先に関しても、様々な分野において、世界最先端の研究室と交流を持っています。世界レベルの研究を行うことで、世界で活躍できる人材の育成を目指しています。





## 診療の特色

- ・前立腺肥大症から女性骨盤臓器下垂まで、排尿障害の総合的診療
- ・男性不妊症に対する積極的アプローチ
- ・前立腺癌に対する低侵襲手術（ロボット手術を含む）
- ・腹腔鏡手術による患者にやさしい医療
- ・腎癌、膀胱癌に対してもロボット手術を積極的に施行
- ・福井県の移植医療を担う唯一の診療科

## 教室について

## 在院教室員数

大学病院スタッフ数 15名（男性 12名／女性 3名）  
 同門会員数 66名（男性 58名／女性 8名）  
 （2022年4月現在）

## 主な研究内容

- ・脳血管障害、脊髄損傷、下部尿路閉塞に伴う下部尿路機能障害の発生メカニズムについての分子生物学的、薬理学的研究
- ・内分泌環境と下部尿路機能障害に関する基礎的／臨床的研究
- ・間質性膀胱炎の病態解明に向けたモデル作成
- ・睡眠と尿産生日内リズム・膀胱機能
- ・前立腺の炎症に関する基礎・臨床的研究
- ・夜間頻尿・夜間多尿に対する基礎的研究
- ・メタボリック症候群と下部尿路機能障害に関する疫学的、臨床的、基礎的研究
- ・前立腺癌の発癌遺伝子の同定と治療
- ・尿路生殖器腫瘍と糖鎖マーカーとの関連
- ・腎癌・前立腺癌治療におけるautophagy誘導の意義
- ・ストレスと排尿機能障害についての基礎的研究
- ・男性更年期障害の内分泌学的研究

## 教室員募集について

**定員**：特になし、出身大学は問いません

**申込締切**：病院の締め切りに準ず。

**選考方法**：面接

**説明会の日時、場所、申し込みの締め切り**：

希望者には適宜連絡します。連絡先をご参照下さい。

**特色、雰囲気など**：

教室の雰囲気は明るく、自由にのびのびと仕事のできる環境です。何事にも積極的で、診療、研究のみならずレクリエーションも多く、教室員は忙しい日々を送っています。企業との共同研究は非常に盛んで、産学連携を目指しています。また公的助成金の取得（科学研究費）も多く、研究費は豊富です。国際学会での発表も盛んで、2019年度の海外での発表は9を数えます。国内のみならず海外の学会参加もすべて教室費で賄っており、財政的にも豊かな教室だと思います。留学生に対しては積極的な支援をしています。

**教室での環境について**：

採用の時期・卒後年度・出身校による区別・差別は一切ありません。

泌尿器科  
専門医への道

福井大学泌尿器科専門研修プログラムでは4年間の研修期間のうち初年度と4年目の合計2年間で基幹教育施設で研修することを原則としています。残りの2年間に関しては連携施設での研修となります。大学院進学コースでは4年目に大学院へ入学し研修を同時に行うことが可能です。臨床修練コースにおいても原則的には2-3年目を研修連携施設で研修し4年目に大学病院に戻って研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により2年日以降の研修先に関しては専門研修プログラム管理委員会で決定することとします。さらに福井大学地域医療枠を卒業した方を対象とした地域医療コースも設定しています。福井大学県民医療（福井健康推進枠、修学研修資金枠）および嶺南地域医療コースの場合には卒後臨床研修を2年間終了した後にそれぞれ7、5、または4年間の指定医療機関での勤務が必要となりますが、この期間を泌尿器科臨床に充てれば専門医の取得には卒後6年間で可能となります。

【1】大学院進学コース

大学院進学コースにおいては専門研修4年次において大学院へ入学する。病棟や外来業務は従来と同様に行うが、一方で自分の専門分野を決定し研究の準備も並行しながら行う。本コースを選択した場合は卒後6年間で専門医の取得が可能で9年間で学位を取得することが可能です。



【2】臨床修練コース

臨床修練コースにおいても原則的には2-3年目を研修連携施設で研修し4年目に大学病院に戻って研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により2年日以降の研修先に関しては専門研修プログラム委員会で決定します。4年間の専門研修終了後に大学院へ入学することも可能です。



【3】県民医療コース

福井県からの奨学金を受給して、卒後臨床研修2年の後7年間は県内の指定医療機関に勤務する福井健康推進枠と、卒後臨床研修2年の後5年間は県内の指定医療機関に勤務する修学研修資金枠があります。県民医療コースでは上記の大学院進学コースおよび臨床修練コースと基本的には同じですが、専門研修プログラムの1年目を大学病院で研修した後、連携施設での研修を原則として福井県内の指定施設で行います。研修の期間に泌尿器科診療に従事すれば卒後6年間で専門医の取得が可能です。



B. 修学研修



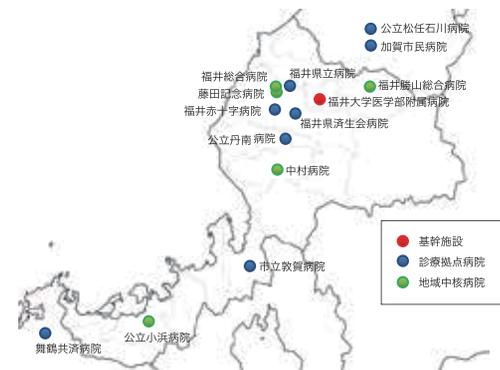
【4】嶺南地域医療コース

嶺南地域医療コースでは卒後3年日以降で合計4年間の地域義務年限がありますので専門研修プログラムの1年目を大学病院で研修した後、4年間は嶺南地域の指定病院に勤務します。この4年間は福井県嶺南地方の指定医療機関のうち、福井大学泌尿器科専門研修プログラムに属する連携研修施設でもある市立敦賀病院または公立小浜病院での泌尿器科診療に従事すれば専門医の取得に関しては卒後6年間で取得が可能となります。



【5】研修連携施設について

福井大学泌尿器科専門研修プログラムに属する研修連携施設は14ありますが、すべての施設において泌尿器科指導医が常勤しています。この中でも日本泌尿器科学会の拠点教育施設を満たす診療拠点病院（福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井県立病院、市立敦賀病院、加賀市民病院、公立松任石川中央病院）と教育関連施設として位置づけられる地域中核病院（公立小浜病院、中村病院、福井総合病院、藤田記念病院、福井勝山総合病院、公立丹南病院）の二つに大別されます。専門医研修の期間中は臨床経験を豊富にこなす必要がある観点から基本的には上記の診療拠点病院での研修を基本としますが、同時に地域中核病院へ定期的に出向し地域医療の現状についても理解を深めて下さい。以下に各病院の所在を表した地図を示します。



医学博士  
への道

原則として当教室では全員が博士号を取得します。医師としての給与（助手、医員）を得つつ大学院での研究も可能です。

- 1) 大学院は専門研修プログラムの4年目から入学できます。社会人選抜大学院生は4年すべてを泌尿器科専門研修として認められます。
- 2) 専門医取得後に大学院入学も可能です。
- 3) 大学院では通常の診療は軽減されますが、外勤は可能で、生活の心配は全くありません。
- 4) 助手あるいは医員の職をもち給与を受けながら社会人選抜大学院生として大学院での研究を行うこともできます。
- 5) 大学院は泌尿器科学講座での基礎研究でも基礎医学講座での研究でも選択できます。
- 6) 基礎研究に興味なければ臨床研究での博士号取得も可能です。
- 7) 大学院に入らず助手として診療の傍ら基礎的研究に努め、医学博士を取得（論文博士）することもできます。
- 8) この間専門医療技術の習得（腹腔鏡手術・ロボット手術、移植手術や血管手術、小児形成手術など）を続け、臨床的研究も行うことができます。

研修・勤務  
プログラム

年 数	プログラム	大学院への入学状況
1年目	初期研修	原則としてなし
2年目	同 上	同 上
3年目	教室勤務、一部赴任	受入あり
4～5年目	連携研修施設にて研修	同 上
6年目	福井大学病院にて研修。希望により大学院入学。 (社会人大学院生として専門的診療・研究開始)	同 上
7年目	4月専門医認定	同 上



7年目  
以降

- 専門的診療・研究
- 1) 学位取得（3～6年）
  - 2) 泌尿器科指導医（卒後11年）

(希望と実績により決定)



8～10  
年目  
以降

この段階での頻回の移動は考えていません。  
最終的ポストについては各教室員の希望に添う様努力します。

- 研究職を希望
- 病院の内容を重視
- 地域を重視
- 開業を希望 など

連携研修  
施設

病院名	所在地	規模	特色など	社会保障の有無
杉田玄白記念 公立小浜病院	小浜市	418床	小浜市および近郊における唯一の公立病院	有
市立敦賀病院	敦賀市	332床	嶺南地域における中核病院	有
公立丹南病院	鯖江市	199床	丹南地域における唯一の公立病院	有
福井勝山総合病院	勝山市	199床	奥越地域における唯一の総合病院	有
中村病院	越前市	206床	時代を先取する理念を持つ私立総合病院	有
福井総合病院	福井市	351床	福井市における中核病院	有
福井県済生会病院	福井市	470床	福井市における中核病院	有
福井赤十字病院	福井市	630床	福井を代表する総合病院	有
福井県立病院	福井市	880床	福井第一位の規模を有する総合病院	有
公立松任石川 中央病院	白山市	305床	白山市における中核病院	有

その他：福井厚生病院（福井市）、藤田記念病院（福井市）、福島泌尿器科医院（福井市）、細川泌尿器科医院（福井市）、大滝病院（福井市）、福井リハビリテーション病院（福井市）、多賀内科循環器科医院（福井市）、木村病院（あわら市）、久藤病院（加賀市）、加賀市民病院（加賀市）、木村病院（鯖江市）、鯖江リハビリテーション病院（鯖江市）、広瀬病院（鯖江市）、斉藤病院（鯖江市）、林病院（越前市）、国立病院機構敦賀医療センター（敦賀市）、市立敦賀病院（敦賀市）、坂井市立三国病院（坂井市）、松田病院（大野市）、宮崎病院（坂井市）、春江病院（坂井市）、富山県リハビリテーション病院（富山県富山市）

## 留学先

ワシントン大学（USA）  
ピッツバーグ大学（USA）  
シェフィールド大学（UK）  
NIH（USA）  
ジョンズ・ホプキンス大学（USA）

認定医・指導医の取得状況

診療科等名	職名	氏名	認定医・指導医等の名称	取得日
泌尿器科	教授	寺田 直樹	泌尿器科専門医	2003.4
			泌尿器科指導医	2008.4
			泌尿器科腹腔鏡技術認定	2018.4
			日本内視鏡外科学会技術認定医	2018.4
			ロボット手術プロクター認定医	2021.4
	講師	福島 正人	泌尿器科専門医	2003.4.1
			泌尿器科指導医	2008.4.1
			日本内視鏡外科学会技術認定医(泌尿器腹腔鏡)	2015.4.1
			日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡学会・泌尿器腹腔鏡技術認定医制度認定医	2015.4.1
	講師	多賀 峰克	泌尿器科専門医	2012.4.1
			泌尿器科学会指導医	2017.4
			日本内視鏡外科学会技術認定医(泌尿器腹腔鏡) 日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡学会・泌尿器腹腔鏡技術認定医制度認定医	2016.4 2016.4
	助教	関 雅也	泌尿器科専門医、大学院生	2013.4.1
			泌尿器科学会指導医 日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡学会・泌尿器腹腔鏡技術認定医制度認定医	2018.4 2019.4
	助教	稲村 聡	泌尿器科専門医	2013.4.1
			泌尿器科学会指導医 日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡学会・泌尿器腹腔鏡技術認定医制度認定医	2018.4 2020.4
	助教	堤内 真実	泌尿器科専門医 泌尿器科学会指導医	2017.4.1 2022.4.1
助教	小林 久人	泌尿器科専門医 泌尿器科学会指導医	2017.10 2022.4.1	
医員	奥村 悦久	泌尿器科専門医、大学院生	2016.4	
医員	吹上 優介	泌尿器科専門医、大学院生	2020.10	
医員	田中 伸樹	泌尿器科専門医、大学院生	2020.10	
医員	垣鏑 忠	泌尿器科専攻医、大学院生		
医員	徐 元錫	泌尿器科専攻医、大学院生		
医員	上木 啓輔	泌尿器科専攻医		
医員	西川 貴雄	泌尿器科専攻医		
非常勤医師	黒川 哲之	泌尿器科専門医	2012.4.1	
		がん治療認定医	2014.4.1	
		日本排尿機能学会専門医	2017.4.1	
		泌尿器科学会指導医	2017.4	
		日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡学会・泌尿器腹腔鏡技術認定医制度認定医	2019.4	

連絡先

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3  
 TEL (0776) 61-8399 FAX (0776) 61-8126 E-mail urology@med.u-fukui.ac.jp